

神奈川県 川崎市 NPO法人高津総合型スポーツクラブSELF

予算額

14,463,171 円

地域課題解決に向けた取組

1	取組の名称	SELF親子スポーツ教室の開催(親子キャンプ教室)				
	趣旨・目的	本企画は、高津区だからこそできるものを再発掘し、区内にあう地域資源の有効活用をコンセプトとして立案するとともに、家族活動の機会創出を目的とした。				
	内容	高津区市民健康の森を育てる会、下作延子ども連合会、NPO法人防犯ネットワーク等、地域団体との協力を図り、「高津で森遊び、親子deキャンプ教室」を開催した。目的地まではエコディーゼルカーで送迎、竹食器を作り、参加者全員で流しそうめん大会、食事後は森を散策し、廃油を活用したアロマキャンドル作りを行った。				
	対象者	区内親子	参加人数/回	区内親子12組27名(大人13名、子ども14名)	実施回数	1回
	効果を高めるための工夫や取組など	<ul style="list-style-type: none"> <li>単発的な企画ではなく、継続して事業を行うことにより、子どもの体力増加、技術の向上を目指していく。</li> <li>地域の誰もが参加できる事業を提案し、地域との結びつきを深めていくよう努めた。</li> <li>継続的にそして計画的に事業を行っていくことにより、クラブ独自の自立した事業へと発展させていくことを目指している。</li> </ul>				
	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域資源の有効活用を図ると共に、家族活動の機会を提供することができた。</li> <li>普段触れることの少ない自然の中で身体活動を行うことにより、子ども達の新たな気づきや興味を引き出すことに繋がった。</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャンプの実施については、町会、区役所、許認可を取るための行政届出等諸手続きにかなりのエネルギーを必要とした。</li> </ul>					

2	取組の名称	SELF親子スポーツ教室の開催(親子パドルテニス教室)				
	趣旨・目的	本事業の目的である、子どもの運動能力の向上、親子間の絆作り、社会性の向上などを目的として親子パドルテニス教室を開催。				
	内容	参加者の皆様には馴染みの浅い種目ではあったようだが、専門講師の指導の下、ラケットの持ち方などの基礎練習から、最後は試合形式で競技を行うなど新たな競技との出会いを真剣にそして全力で楽しまれていた。				
	対象者	区内親子	参加人数/回	区内親子11組24名(大人11名、子ども13名)	実施回数	1回
	効果を高めるための工夫や取組など	<ul style="list-style-type: none"> <li>単発的な企画ではなく、継続して事業を行うことにより、子どもの体力増加、技術の向上を目指していく。</li> <li>地域の誰もが参加できる事業を提案し、地域との結びつきを深めていくよう努めた。</li> <li>継続的にそして計画的に事業を行っていくことにより、クラブ独自の自立した事業へと発展させていくことを目指している。</li> </ul>				
	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段触れる事の少ない競技を行うことにより、スポーツの持つ新たな楽しみを伝えることができた。子どものスポーツ環境の減少により、新たなスポーツに取り組むことが難しくなっている現代において、子ども達がいつでも大好きなスポーツに取り組む事のできる環境づくりに努めていく。</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段から馴染みないスポーツだけに広報活動の工夫が必要である。</li> </ul>					

3	取組の名称	SELF親子スポーツ教室の開催(親子ハイキング教室)				
	趣旨・目的	地域に残る里山の秋を家族で感じてもらいたく、本企画を開催。地域にはまだまだ素晴らしい自然がたくさん残っており、そこから多くのものを得ていく事ができるという事を伝えていく。				
	内容	当日は、田んぼや小川を越えて、大自然の中を一日かけて散策。家族で力を合わせて歩き続けたことで、家族の絆も深まったと思う。				
	対象者	区内親子	参加人数/回	21名	実施回数	1回
	効果を高めるための工夫や取組など	<ul style="list-style-type: none"> <li>単発的な企画ではなく、継続して事業を行うことにより、子どもの体力増加、技術の向上を目指していく。</li> <li>地域の誰もが参加できる事業を提案し、地域との結びつきを深めていくよう努めた。</li> <li>継続的にそして計画的に事業を行っていくことにより、クラブ独自の自立した事業へと発展させていくことを目指している。</li> </ul>				
	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段の生活から離れた大自然の中で、一日を過ごすことにより、子ども達は非常に貴重な体験をすることができた。また、親子で力を合わせて活動することにより、強い絆づくりに繋がった。</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の豊かな資源をいかに活用し伝えて行くかを考えていく。</li> </ul>					

4	取組の名称	SELF親子スポーツ教室の開催(親子ニュースポーツ教室)				
	趣旨・目的	本事業の目的である、子どもの運動能力の向上、親子間の絆づくり、社会性の向上などを目的として、親子ニュースポーツ教室を開催。				
	内容	参加者全員をチーム分けし、大縄跳び、キンボール転がしリレー、ドッジボールなどを対戦形式で行った。				
	対象者	区内親子	参加人数/回	6組15名	実施回数	1回
	効果を高めるための工夫や取組など	<ul style="list-style-type: none"> <li>単発的な企画ではなく、継続して事業を行うことにより、子どもの体力増加、技術の向上を目指していく。</li> <li>地域の誰もが参加できる事業を提案し、地域との結びつきを深めていくよう努めた。</li> <li>継続的にそして計画的に事業を行っていくことにより、クラブ独自の自立した事業へと発展させていくことを目指している。</li> </ul>				
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子が協力して競技に取り組み、お互いのプレーを笑顔でたたえ合う体験は、親子コミュニケーションの促進と互いの親愛感を深める、貴重な親子交流の場となった。今後も、スポーツを通じて、人と人との繋がりを築きあげていきたい。</li> </ul>					
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>パドルテニス同様、馴染みのないスポーツなので広報活動の工夫が必要である。</li> </ul>					

5	取組の名称	SELF親子スポーツ教室の開催(親子そり体験教室)				
	趣旨・目的	地域企業と連携を図り、地域施設の有効活用を目的とし、親子そり体験教室を開催。普段触れる事のない、ゲレンデの中に足を踏み入れ、子ども達に新たなスポーツのおもしろさ、素晴らしさを伝えていく。このような活動をとおして、地域、企業、施設の結びつきを深め、地域の活性化へと繋げていく。				
	内容	自分に合うコース(ショートorロング)を選んでもらい親子で楽しくそりを滑って頂きました。				
	対象者	区内親子等	参加人数	304名	実施回数	2回
	効果を高めるための工夫や取組など	<ul style="list-style-type: none"> <li>単発的な企画ではなく、継続して事業を行うことにより、子どもの体力増加、技術の向上を目指していく。</li> <li>地域の誰もが参加できる事業を提案し、地域との結びつきを深めていくよう努めた。</li> <li>継続的にそして計画的に事業を行っていくことにより、クラブ独自の自立した事業へと発展させていくことを目指している。</li> </ul>				
	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域施設の有効活用を図るとともに、日常生活では体験することのできないゲレンデという空間の中で、子ども達に新たなスポーツの出会いを提供することができた。今後も地域企業、組織との連携を図り、地域全体で地域課題の解決に努めていきたい。</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>募集人数が予想以上に多かった為、受付での対応の遅れが目立った。次回からはスタッフ増員と受付の増設を検討したい。</li> </ul>					

6	取組の名称	SELF親子スポーツ教室の開催(親子卓球教室)				
	趣旨・目的	本事業の目的である、子どもの運動能力の向上、親子間の絆づくり、社会性の向上などを目的として親子卓球教室を開催。				
	内容	専門講師の下、ラケットの持ちからから、最後はゲームを行うなどの指導を行った。				
	対象者	区内親子	参加人数/回	24名	実施回数	1回
	効果を高めるための工夫や取組など	<ul style="list-style-type: none"> <li>単発的な企画ではなく、継続して事業を行うことにより、子どもの体力増加、技術の向上を目指していく。</li> <li>地域の誰もが参加できる事業を提案し、地域との結びつきを深めていくよう努めた。</li> <li>継続的にそして計画的に事業を行っていくことにより、クラブ独自の自立した事業へと発展させていくことを目指している。</li> </ul>				
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門講師の指導により、参加者の技術・技能の向上を図り、ラリーという会話を通じて親子の絆を深めた。</li> </ul>					
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れた頃に時間が来てしまい残念がる親子が多数見受けられた為、継続性のある事業を目指したい。</li> </ul>					

## 小学校体育活動支援

派遣先学校総数	9 校
---------	-----

コーディネーター総数	23 名
------------	------

### ◆効果を高めるための工夫や取組など

- ・ 総合型スポーツクラブを立ち上げる準備のために地域で活動している方々をコーディネーターに採用し設立をより加速させ地域と学校の結びつきを強化する。
- ・ 時間割を3時限、4時限と連続させコーディネーターの指導が効率的・効果的になるように配慮する。

### ◆成果と課題

#### 〔成果〕

- ・ 地域の人材を活用することにより、総合型地域スポーツクラブへの関わりや関心が高まる。
- ・ 教員を目指す人(卒業生や現役を含め)にとっては、将来のための勉強となる。
- ・ コーディネーターの活動により、現在の教員が刺激を受け学校の活性化が図れる。
- ・ 学校と地域の連携がより深まる。
- ・ 教員負担の軽減により、体育活動以外の学校運営にもプラスとなる。
- ・ 子ども達の活動時間が飛躍的に拡大した。
- ・ 教員とコーディネーターが分担して活動できたため、子ども達に対し安心感やルール違反のない平等な活動が保障された。

#### 〔課題〕

- ・ コーディネーターが勤務できる曜日や時間と学校が最も必要とする曜日や時間の調整をすることが難しい。

## 本事業全体の成果と課題

#### 〔成果〕

- ・ 地域スポーツ及び学校体育活動の場を通して、学校・企業・地域が総合的に連携することにより活動の輪を広げる事ができた。また、連携の成功が親と子ども、先生と生徒、地域全体の絆をより一層深めることができた。
- ・ 学校体育コーディネーターをはじめ、本事業に携わる多くの方々に、総合型地域スポーツクラブの活動や取り組み、学校や地域との連携の形を理解していただけたことが大きな成果と言える。この事業に参加いただいた方々が今後のクラブの活動に一人でも多く携わってくれる事を願う。

#### 〔課題〕

- ・ 拠点クラブの位置づけや在り方をもっと明確に示していくべき。拠点クラブの数を増やしてだけでなく、周囲のクラブが拠点クラブを活用していくことができる環境を整備していくべきではないか。
- ・ 単年度単位でみると具体的な成果が見えてこない部分がある。複数年単位で事業成果を捉えていけるような事業計画を練ることのできる体制を築いていくことが必要である。